

づいそう

いまどきの季節に思う

野口 通成



今年もカレンダーがあと1枚となった。初雪の便りも聞こえる季節に入り、ふと1984年1月19日首都圏に降りだした雪の為、午前11時から30時間という開通以来、記録的な長時間に及ぶ首都高速道路全面閉鎖をした事が思い出されます。首都圏の主要道路である「首都高速」は止められないという使命を抱き、当時保全部門に所属していた私は当日徹夜での除雪作業に追われ、翌20日午前8時45分に本社保全施設部に作業状況報告を行いました。閉鎖している高速上を早朝から写真（ポラロイド）撮影しながら新富町から霞ヶ関まで徒歩で行き、積雪状況を調査しました。その結果積雪30cmの数値に驚きとともに報告しました。

その後、積雪の多い区間を中心に一時閉鎖が続きましたが、4号・5号・9号の一部区間を除き21日にチェーン装着車は通行可能となりました。この時、請負者及び公団職員一同交代もなく全力で首都高速の通行再開に向け対処したことを思い出します。

この年は冬季に28日間も降雪があり、閉鎖による減収は約15億円に及んだと聞いています。また、チェーン装着車の走行により路面がえぐられ、舗装の損傷も大きなものでした。特に、中央自動車道、東名高速、京葉道路と直結しているため、交通量が多い3号線、4号線及び7号線は、大型車が路面の傷口をさらに広げたため、3月から毎日10組・200人を動員。春過ぎまで舗装補修工事に取りかかった事を記憶しています。

この教訓を生かすため積雪・凍結対策体制（雪害対策体制を改め）を見直し、翌年に備えましたが運悪く？

翌年は降雪が無かったことを思い出します。

現在、私は神奈川県地区の積雪・凍結対策の担当部署に所属しています。当時に比べると非常に充実された積雪・凍結対策実施要領が備えられており、このなかには積雪・凍結時における対応人員、連絡体制、使用資機材等がきめ細かく記載されています。

神奈川県地区では、塩化カルシウム、塩化ナトリウム等の凍結防止材倉庫が5箇所（清水ヶ丘・生麦・大黒・東扇島・杉田）と塩水プラント設備が2箇所（東扇島・杉田）。さらに、除雪した雪の捨て場として浮島JCT、東扇島及び杉田に約70,000m³を用意してあります。

今年は、夏が記録的に非常に暑かったため、冬は大雪かとの噂もあるようですが、大雪が降らないことを願っています。

12月1日から対策期間に入りますが、職員一同健康に留意し頑張りたいと思っています。なお、当部の積雪・凍結対策の実施にあたっての基本方針は以下のとおりです。

- ① 組織は、指揮系統と責任分担を明確にして、積雪・凍結対策を実行する。
- ② 現場作業は、本マニュアルで提示した要領を十分に発揮させる。
- ③ フライイングを恐れず、早目に状況判断し、決められた指揮系統と作業マニュアルにより、淡々と作業を遂行する。

—のぐち みちなり 首都高速道路公団神奈川管理局保全部
保全部管理課長—

神奈川県地区 積雪・凍結対策実施範囲

